

<教室の特徴>

わかりやすい説明

手ごたえのある制作

描ける
仕組み

講師 加藤 力

(画家・造形美術家・芸術造形研究所 / 臨床美術士 1 級)

1991 東京芸術大学大学院美術研究科油画専攻修士課程 修了

1989 年より発表活動を始め。

越後妻有トリエンナーレ ('09、'12、'15、'18)、瀬戸内国際芸術祭 ('03 秋)、

奥能国際芸術祭 ('17) 参加の他、個展・グループ展多数。

2019 年には全国公募「ドローイングとは何か」にて大賞受賞。

美術館やギャラリーのみならず、街中や一般家庭、商店街など様々な場所で発表し、アートがどの様に人々の中で活かせるのか模索している。

■ 形の描き方コース 詳細

DAY 1 4月2日

見る・感じる・描くってどういうこと？①

【持参画材 オイルパステル 16 色セット、もしくは他社クレパス等 16 色セット程度】 ※画用紙は当方で準備します。

①オイルパステル練習 マチエール

②オイルパステルで描くかぼちゃ

モチーフ：かぼちゃ単体



DAY 2 4月16日

見る・感じる・描くってどういうこと？②

【持参画材 透明水彩用具一式 (透明水彩絵具 12 色程度のセット、平筆 16 号、平筆 8 号、丸筆 10 号、丸筆 4 号、水彩用パレット 筆洗)、割り箸ペン、鉛筆 HB、練り消しゴム】 ※画用紙は当方で準備します。

①水彩絵具練習 重色 混色 滲み たらし込み

②レモンを描く

モチーフ：レモンと色画用紙 (台紙)



DAY 3・4 5月7日・5月21日

見る・感じる・描くってどういうこと？③

【持参画材 アクリル用具一式 (アクリラガッシュ、ペーパーパレット中サイズ、平筆 16 号、平筆 8 号、丸筆 10 号、丸筆 4 号:水彩と共用、筆洗:水彩と共用)、F6 キャンバス】

①アクリラ練習 様々な線と面、マチエール

②アクリラでアジの開きを描く

モチーフ：鱈の開き



DAY 5・6 6月4日・6月18日

そこにモノがあるように描くには？①

【持参画材 デッサン用具一式 (鉛筆 4H、2H、F、HB、B、3B、練り消しゴム、ガーゼ 30×30 cm) ※画用紙は当方で準備します。

①鉛筆練習 モノクロワールド

②形をとるとはどういうこと？透視画面 解説と練習

③デッサン 形をとる 箱と自然物

イーゼル・デスケール・はかり棒の使い方

モチーフ：箱と自然物 (木箱と椰子の実)



DAY 7・8 7月2日・7月16日

そこにモノがあるように描くには？②

【持参画材 アクリル用具一式、鉛筆 B、練り消しゴム、F6 キャンバス】

①楕円の解説 楕円を描く練習

②アクリラで描く円柱と球

モチーフ：バケツとボール



■ 画材について

画材は美術用品店などで各自ご購入いただきますが、芸術造形研究所にて、オイルパステル、水彩用具一式、アクリル用具一式の販売をしております。「脳いきいきボックスセット」(15,840 円/税込) をご購入いただければ、まとめて画材を揃えることが出来ます。尚、デッサン用具はセットには含まれておりませんので、各自にてご購入をお願いします。詳しくは芸術造形研究所 受付にお問い合わせください。

※講座のスケジュール、内容等は変更になる場合がございます。

<お申込み・お問合せ>

芸術造形研究所

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル7F ●TEL : 03-5282-0210 ●FAX : 03-5282-7307 ●E-mail : school@zoukei.co.jp